



がんになっても人生は続きます。
 早期診断・治療で治る可能性が高まり、
 新薬の開発など治療の幅も広がってきました。
 しかし、がんと生きる本人の不安や苦しみは消えません。
 副作用が心身に影響を及ぼし、
 治療の長期化が経済的な負担にもなっています。
 コロナ禍で誰にも相談できず孤立している人も少なくありません。
 二人に一人ががんにかかる時代。
 誰もがなりうる病とどう向き合い、
 支え合い生きるとかを考えていきます。

愛知発オンラインフォーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～



日時

2021年 6月 27日(日)

開演(配信):午後1時30分 終演:午後4時10分(予定) ※途中休憩あり

定員:700名 参加費:無料 *要事前申込

(インターネットデータ通信料のみご負担ください)



参加申込用二次元コード
 ※詳細は裏面をご覧ください。



プログラム

<テーマ> がん情報からひも解く“最新治療”と“寄り添い方”

【第1部】

スペシャル対談



大島 康徳 ×

(元プロ野球選手、プロ野球解説者)



町永 俊雄

(福祉ジャーナリスト)

「がんになっても人生フルスイング」

【第2部】

“がん情報”を味方にする
 “寄り添う”ってなんだろう？

◆パネリスト

堀田 知光

公益財団法人がん研究振興財団 理事長、
 国立研究開発法人
 国立がん研究センター 名誉総長

三嶋 秀行

愛知医科大学教授・がんセンター長

◆コーディネーター

町永 俊雄

福祉ジャーナリスト

大島 康徳

元プロ野球選手、プロ野球解説者

花井 美紀

NPO法人ミーネット 理事長

ほか

題字/延 哲也 イラスト/天野 初音 レイアウト/ハナデザイン

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

2021年 6月 27日(日)

開演(配信):午後1時30分 終演:午後4時10分(予定)
※途中休憩あり



パネリスト

ほった ともつ
堀田 知光

公益財団法人がん研究振興財団 理事長、
国立研究開発法人
国立がん研究センター 名誉総長

1969年名古屋大学医学部卒業後、同大学医学部第一内科で臨床を重ねる。東海大学教授を経て、2006年より名古屋医療センター院長に就任。患者・家族に向き合う“チーム医療”の実践に力を注いできた。2012年には国立がん研究センター理事長に就任。最先端のがん研究やがん医療を推し進めるとともに、“患者の人生そのものに寄り添う支援”にも尽力し、「がんサバイバースhip支援研究部」を新たに発足させた。2018年より現職。2020年には自らも十二指腸がん罹患。患者としての思いも伝える日本がん対策の第一人者。



パネリスト

みしま ひでゆき
三嶋 秀行

愛知医科大学教授・
がんセンター長

1984年大阪大学卒業。同大学第2外科に入局。大阪医療センター外科医長、臨床腫瘍科長などを経て、2012年に愛知医科大学教授。現在、同大学病院副院長兼がんセンター、臨床腫瘍センター、臨床研究支援センター部長、ゲノム医療センター副部長。専門は消化器がんの薬物療法、ゲノム診療と診療相談。診療相談では担当医と患者の意識の差を埋める役割を担当、診療室での患者・家族との対話を特に大切に、医療的なエビデンスだけに捉われず、その人の暮らしや人生にあわせた最適な治療を提案している。



パネリスト

おおしま やすのり
大島 康徳

元プロ野球選手、
プロ野球解説者

大分県生まれ。1968年中日ドラゴンズに入団。1983年に本塁打王を獲得するなど主軸選手として活躍。1988年日本ハムファイターズへ移籍。1990年通算2000本安打を達成。1994年に現役引退。引退後は解説者・指導者となる。2000年から2002年まで日本ハムファイターズ監督。2006年WBC日本代表チームの打撃コーチとして優勝に貢献。2016年に大腸癌(ステージ4)と転移性肝臓癌が発覚。同年11月に大腸癌切除手術を受ける。現在は抗がん剤治療を受けながら、プロ野球解説者の仕事、がん体験を語る講演活動を続けている。日本プロ野球名球会会員。



パネリスト

はない みき
花井 美紀

NPO法人ミーネット
理事長

1988年、がん患者の父に、がんを非告知のまま看取る。のちに、父が自分はがんを知っていたが知らないふりをして旅立ったことが判明。患者と家族が、がんを正しく知り、がんに向き合うことの大切さを痛感し、がん患者・家族支援活動を始める。がんのピアサポーターの養成、名古屋市との協働による「名古屋市がん相談情報サロン・ピアネット」の運営、愛知県内21のがん診療連携拠点病院での院内ピアサポーター活動などに取り組む。

ほか



コーディネーター

まちなが としお
町永 俊雄
福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

◆ 参加お申し込みについて

インターネット環境下にあるパソコン、スマートフォンで全国各地からご視聴いただくフォーラムです。参加ご希望の方は下記ホームページの申し込みフォームにて必要事項を記入してお申し込みください。右にある二次元コードからもお申し込みいただけます。

<https://www.npwo.or.jp/info/18977>

※お申込みいただいた方には「受付確認メール」を送信いたします。

6月19日以降に「視聴の手引き」など、本フォーラムに関する資料を郵送いたします。

※お申し込みが6月18日以降の場合、事前送付資料は郵送いたしませんので、あらかじめご了承下さい。

6月18日以降にHPに掲載します「視聴の手引き」「よくあるご質問」「プログラム」をご確認お願いいたします。

※6月21日ごろに「視聴用URL(ホームページアドレス)」と「パスワード」などをメールにて連絡いたします。

※受信拒否設定などをされている方は、あらかじめ npwo.or.jp からのメールが受信できるよう、設定の変更をお願いいたします。

また、フリーメールアドレスで申し込まれた場合は、こちらからのメールが受信できない場合があります。

※個人情報適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

※6月23日を過ぎてもメールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

※新型コロナウイルス感染症の影響などにより変更が生じた場合は、

NHK厚生文化事業団ホームページ(<https://www.npwo.or.jp/>)にてお知らせいたします。



参加申込用二次元コード

愛知県名古屋市「ウイंकあいち」より
配信します。



愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」は、「中小企業の経営・創業支援」「国際ビジネス支援」「新たな雇用の創出促進」など、多様な産業労働支援を図るための拠点として誕生しました。

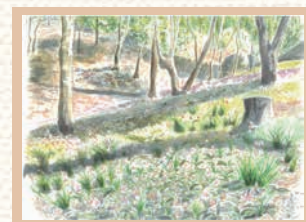
◆ 視聴上の注意

※Wi-Fi(無線)接続の場合、状況により映像や音声途切れる場合があります。長時間になりますので、3G/4G/5G/LTE回線でご視聴いただくと、データ通信量が決められた上限に達してしまう場合がございますのでご注意ください。

※視聴端末ごとに、お一人ずつ事前申込が必要となります。

◆ 問い合わせ

NHK厚生文化事業団「がんオンラインフォーラム」係
電話 03-5728-6633 (平日 午前10時~午後5時)



イラスト提供
天野 初音さん

「私の住む愛知県豊田市の北東部に位置する香嵐渓は春になると枯葉の森が赤紫のシフォンを纏ったかのようにカタクリの花が咲きます。大半を地下で休眠した後に開く花びらに、長く辛い抗がん剤治療を終えた自分を重ね合わせます。現在は就労支援という形で患者さんが花開くお手伝いをしています。」